和光の緑と湧き水だより 会報 Verda２２３号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。　作成:高橋絹世　連絡先　048―462―9912

身 近 な 自 然 を 知り 守り 伝えよう　会 員 募 集 中

ホームページ　http://wako-wakimizu.org/

2023年3月～2023年4月の主な予定表　（2023年2月発行）

予定	全体会	新倉ふれあいの森	冨澤湧水・大坂ふれあいの森
3 月	樹林公園 ヒロハアマナ観察会 3 月 12 日（日） 13 時半体育館前集合	18 日　定期保全	11 日　冨澤フィールドワークと打ち合わせ 15 日　大坂ふれあいの森保全活動
4 月	タケノコ掘体験	15 日　タケノコ掘体験	８日　冨澤フィールドワークと打ち合わせ 19 日　大坂ふれあいの森保全活動

1．　日頃より当会の活動への深いご理解と多大なご支援に感謝いたします。

2022 年 1 月よりご支援をいただきました方々を会報でお知らせさせていただきます。

柳下技研　会長柳下勇様には、数年前から会の湧水活動へのご支援をいただき、さらに市内の事業者の方々へ当会へのご支援を進めていただきました。

大変有難く、ここに改めて御礼申し上げます。

ご支援くださいました方々をご紹介させていただきます。

㈱会社柳下技研様、㈱会社リゾン様、(有)双立プラスチックス工業様、大崎俊彦様（個人）

2．　2023 年度の活動予定として、サイサン環境保全基金に申請中です。

2023 年度は、コロナ後の活動をパワーアップしようと企画しました。

第 1 企画：湧水環境フォーラム in 和光の開催　10 月 15 日（日）

より多くの人たちに和光の湧水群を知ってもらうこと。現地見学も含めて、都市部に存在する清らかな湧水を次世代につなぐ。

第 2 企画：子供たちにわかりやすいお話としての紙芝居と絵本作り。

「ぼくのゆめはわき水になること」を作成出版。学校や幼稚園に配布する。

第 3 企画：「冨澤湧水」を知らせる看板づくり。県道川越線の富澤整形外科の駐車場できれいな湧水の流れが解りにくい。院長先生にもご了解いただきました。

以上の申請内容です。結果は 3 月中旬に連絡があります。

３．　2022 年 11 月 23 日「尚仁沢湧水群」バス研修会

流石「日本の名水百選　尚仁沢湧水群」　小雨降る中、上り下りのある山道を注意しながら進んだ奥に、驚きの湧水群がありました。岩で覆われた湧き出し口から周囲全体に流れ出し、驚くほどの水量の湧水です。周りに霧がかかっていて、さらに際立った景観に出会えました。山の中腹からこのように湧き出す湧水があることが不思議です。

「百聞は一見に如かず」川のように湧き出す湧水

４．　1 月 14 日　NPO 法人の活動を支援している県の機関
いきいき埼玉の たまサポから取材

当会の活動について取材があり、担当者畑田氏と白子コミセンで集会し、会の活動の趣旨、これからの方向性について紹介しました。「たまサポ調査隊がゆく」のコーナーで、特徴的な画像と共に会の活動内容、アピールポイント、今後の展望が紹介されました。

担当の畑田様の軽快な紹介文で会の活動を盛り上げていただきました。

お時間のある際、ご覧いただけますと幸いです。たまサポ調査隊がゆく（いきいき埼玉：畑田洋佑様より）

https://www.iki-iki-saitama.jp/kenkatsu/saisapo/npo/corporate/10362/

５．　冨澤湧水フィールドワークと押し葉づくり

12 月 10 日、富澤湧水フィールドワークの日に、押し葉づくりも出来る「湧水観察と保全体験会」を企画しました。初めての参加者は 6 名、会員と一緒に斜面を上り森の観察や、石垣湧水道の観察、また、モミジやイチョウの葉で押し葉のハガキを作ったり、湧水地で和気あいあい自然を楽しみました。

フィールド活動と一緒に、今後湧水地で体験会を企画することも可能かと思います。

富沢湧水で、水路や斜面上部の草刈り後に、簡単な工作、湧水めぐりも出来るといいなと思います。今後いろいろ考案し、多くの方々に湧水地での活動を発信していこうと思います。

6．　八廣園によるナラ枯れと松枯れ・伐採と害虫処理および定期保全

2023 年新年早々に、富澤湧水斜面上部のコナラの伐採、および枯れた松の伐採が、㈱会社八廣園により行われました。さらに、富澤湧水の石垣湧水道上部の急斜面の竹や樹木の枝の剪定も行っていただきました。

２月の定例保全日２月 11 日には、水路中のキショウブ（外来種）の根を取り除き、水路掘り（水路幅を広げる作業）を実施しました。

7．　新倉ふれあいの森の活動　2023 年 1 月 21 日　2 月 18 日

今年初めての保全活動で、手もかじかむような寒さの中でしたが竹林内の密集した場所の竹の間引きをしました。まだまだ多すぎるので次回も間引きをしたいと思います。西日の入り過ぎる所にクルミの幼木を植え付けまし。順調に育って竹林に入る西日を遮ってくれることを願っています。「ヤマトクサカゲロ」らしき虫を撮りました。

8．　大坂ふれあいの森　白子大坂ふれあいの森の会

大坂通はり 11 月から 12 月にかけて、ケヤキやムクノキ、モミジなど、最も落ち葉の多い季節です。ここ大坂は、車だけでなく多くの人が歩いて通ります。そのため落ち葉掃きは重要なふれあいの森の会の活動です。今回はいっぱいになった落ち葉を、ガケで囲まれた水路の崖周りに撒いて土に戻す作業をすすめました。

西側斜面中部の竹も、昨年から引き続き伐採し、日が差し込み大坂の森が明るさを取り戻しました。2023 年春、カタクリやイチリンソウが生き生きと咲いてくれるように保全を進めています。

9．　樹林公園ヒロハアマナ観察会　３月 12 日集合時間１時半に変更

広報３月号に企画を出しましたが３月１２日(日)は、午前中樹林公園の体育館前や公園内ロードは、「和光市ロードレース大会」が開催され、大勢のランナーで観察会が出来ません。参加をご希望の方には大変申し訳ありませんが、時間を変更することにしました。

樹林公園　ヒロハアマナ観察会　３月 12 日

集合は午後１時半（体育館前の広場）に変更します。

いよいよヒロハアマナの開花シーズンです。牧野富太郎博士が発見命名したヒロハアマナが観られるのはこの時期だけです。春一番に開花し数週間で種になります。昨年外来種のメリケンカルガヤが園全体に広がりその根塊が侵入しています。その状況観察もテーマです。

１０．下新倉小学校の授業への協力

下新倉小学校の 3 年生の主任からご連絡いただき、和光の湧き水について、古くからの利用の様子などを交えてお話しをしてほしいとの依頼がありました。西沢さんの働きかけがあり、急遽講義形式でお話をすることになりました。下新倉小学校は、開校してから 7 年の新しい小学校です。

2 月 20 日、3 時間目授業の中で、高橋勝緒さんが、和光の自然、湧き水について、また、市内の歴史的な個所も含めて、画像を活用し紹介しました。3 年生先生方も含め約 120 名、湧き水についての質問もあり、生徒の皆さんしっかりと聞いてくれました。また和光市自然環境マップも紹介しました。

１１．　新倉小学校 5 年生の体験学習“越戸川と新倉ふれあいの森の観察会”

2 月 22 日、赤松さんのアレンジで、新倉小学校 5 年生、4 クラス一緒に越戸川から赤池児童遊園で集合し、新倉ふれあいの森の観察会を実施し湧き水の会がふれあいの森を案内しました。時期的に落葉樹が葉を落とし野草もなく、単調な森の様子で、短時間、クラス単位で樹木を観察し、竹林歩きを体感しました。最後に、準備しておいた簡単な竹細工を各自に記念として渡しました。早速竹の利用を考えたり興味を持ってもらいました。次回はぜひ新倉の春の貴重な花が咲く様子を観察する機会があるといいと思います。

１２．　総会の予定

今年はサイサン環境保全基金の申請をしている関係で、結果が判るのが 3 月半ばです。
その結果次第で活動が変わってくると思われます。また、4 月がタケノコ掘体験、5 月は小学校の地域の観察体験、緑化祭りなどがある予定です。そこで、総会は 5 月末か 6 月第 1 土曜日にしようと考えています。皆様ご理解いただきご協力よろしくお願いいたします。